

和光市 報道発表資料 平成29年4月26日

タイトル	第10回アジア・エアガン選手権大会委員会が開催されました。
------	-------------------------------

いつ 実施日時・工期	平成29年4月25日（火）13:30～14:30
どこで 会場・開催地等	和光市役所502会議室
だれが 主催者・関係者	主催：アジア射撃連盟 主管：公益社団法人 日本ライフル射撃協会 開催市：埼玉県和光市
なにを 事業内容など	<p>第10回アジア・エアガン選手権大会について、和光市の総合体育館で平成29年12月6日（水）～12月12日（火）まで開催されることとなりました。また、参加選手は300名を予定しており、アジアのチャンピオンを決定するアジア最大規模のエアガン大会です。</p> <p>この度、大会のキックオフとなる第1回目の大会委員会が開催されました。大会委員会は、23名で組織され、日本ライフル射撃協会関係者をはじめ、和光市はスポーツ、社会福祉、商工等に関する団体が参加しました。</p> <p>大会委員会会長及び副会長は以下のとおりです。</p> <p>大会委員会会長 日本ライフル射撃協会会長 坂本 剛二</p> <p>【挨拶概要は別紙のとおり】</p> <p>大会委員会副会長 和光市長 松本 武洋</p> <p>【挨拶概要は別紙のとおり】</p>

	大会委員会副会長 埼玉県ライフル射撃協会会長 武政 宏
な ぜ 目的・理由	アジア・エアガン選手権大会を実施するにあたり、ライフル射撃協会側と開催市側が協力して行うため、大会委員会を組織した。
そ の 他	<p>当日次第</p> <p>開会の挨拶</p> <p>委員等出席者紹介及び委嘱状交付</p> <p>議事(1)第10回アジア・エアガン選手権大会の概要</p> <p>(2)大会運営体制について</p> <p>(3)準備の進捗状況と今後のスケジュール</p> <p>(4)その他</p> <p>閉会の挨拶</p>
問い合わせ先 担 当 課	<p>課 名 秘書広報課</p> <p>氏 名 課長 松戸 克彦</p> <p>電 話 048-464-1111 (内線2314)</p>

第 10 回アジア・エアガン選手権大会委員会挨拶

■坂本剛二会長挨拶（日本ライフル射撃協会会長）

本日は年度初めのお忙しい中にもかかわらず、たくさんの方にお集まりいただきましてありがとうございます。昨年 12 月にご案内の第 10 回アジア・エアガン選手権大会を、アジア連盟主催の元で、日本ライフル射撃協会が主管となって開催することになりました。本大会は東京 2020 オリンピック競技大会に向けて選手強化や、来年ブエノスアイレスで行われるユース五輪の出場権のかかる試合に加え、大会運営やこれを支える領域の養成を大きな目的として開催することになりました。23 年ぶりの国際大会ということで、この第 1 回の委員会が重要となると考えております。

今回、和光市総合体育館で本大会ができましたのも、和光市長のおかげでございまして、埼玉県ライフル射撃協会や関係行政機関、関係団体の皆様のご理解とご尽力には心から感謝申し上げたいと思います。

今大会が東京オリンピックに向けたリハーサル大会として、また、和光市民の皆様がアジア各国の選手、役員と友好親善を深めていただく大会として、まちづくりの一端になればと思っております。結びにあたり、委員の皆様におかれましては、大会の成功に向けて専門的な視点からのご意見をいただきますようお願い申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

■松本武洋副会長挨拶（和光市長）

この大会の開催にあたり日本ライフル射撃協会の皆様、そして埼玉県ライフル射撃協会の皆様には和光市をお選びいただきまして本当にありがとうございます。

和光市は非常に交通の利便性がよく、特に羽田空港、成田空港がそれぞれ一本でバスで結ばれております。そのため、国際大会をするには、打って付けな場所であると自負しております。しかしながら、今回が初めての国際大会ということで、私どもも緊張感を持って、また、2020 年には東京オリンピック・パラリンピックに向けて非常に大きな期待を持って、今回の大会を一緒に支えていきたいと考えております。

この 2020 年には東京オリンピック・パラリンピックが朝霞駐屯地で開催されることになっております。和光市では、東京オリンピックを見据えて射撃競技を通じたまちづくりやまちおこし、そして是非この開催を踏まえて、地域に射撃競技を文化として根ざしていければと思っております。また、朝霞駐屯地の中には自衛隊体育学校がございまして、和光市内にはオリンピック競技に出た方も多数住んでいらっしゃいます。そのご家族を見ると、本当に多くの方々が射撃競技に関わっておりまして、私の身近なところでも、国際大会でメダルを取った方がおります。そういった点でも、和光市初の国際大会の開催を機に、和光は射撃のメッカとして育って行くことも目指していきたいと思っております。

今後は広報わこうで継続的にエアガンの PR を行う等、アジア・エアガンの開催に向けて気運醸成を図っていきたいと思っております。